

## 第117回交流フロア運営会議（議事概要）

### 1 日時・場所

日時：2022年1月5日（水） 18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

### 2 参加者数 18名

### 3 会議内容

<ことば蔵より案内>

- ・企画発案から実施までの流れや、注意事項などについて説明
- ・オミクロン株の感染拡大状況によって、施設使用が制限となる場合や、事業が中止または延期となる可能性があることを説明

<新規提案>

（1）伊丹と周辺の空想鉄道路線を作ろう

#### 【概要】

伊丹とその周辺の白地図上に、自分で考えた空想の路線を描き、その思いや意図を発表し合う企画を開催したい。実際に作業する人は10人、見学者は15人ぐらいを考えている。

ただ地図上に路線を書き込むだけではなく、車両の幅や現行路線からの乗り入れなど、細かい設定も自由にしてほしい。

#### 【意見】

- ・実際に空想路線を書いた人全員が発表するのか。  
→できれば発表してもらいたい。発表時間を長めに設定する必要があるかもしれない。
- ・見学者が退屈しないような工夫が必要。例えば企画者がリアルタイムで実況してはどうか。
- ・どの地図で（どの範囲で）空想路線を考えるのか、事前に分かりやすくした方がよいと思う。
- ・せっかくなので、伊丹の地理や名所を知ってもらえる工夫をしてほしい。

（2）ことば蔵で楽しむ健康体操！おうちでもできるトレーニングを教えます

#### 【概要】

コロナ禍で外出する機会が減り、運動が大事だと思っても何をどうしたらよいか分からない人が増えている。そこで、自宅でもできるトレーニングを広めたい。

イベントは男性も参加可能。ターゲットとしては50歳以上になるが、何歳でも参加可能。

### 【意見】

- ・子どもがいる家庭などもあるので、そのあたりを考慮した日時設定だと嬉しい。
  - ・実施する内容はどのようなものを考えているか。
- 時間は約 50 分。1 つの種目は 30 秒から 45 秒ぐらい。片方のグループが運動している間、もう片方のグループは休憩（インターバル）となる。
- ・どれくらい継続して取り組むべき運動なのか。
- だいたい 1 週間に 2 回。最初の 2 カ月はそれを続けてほしい。継続が肝心。
- ・修了証がもらえたら、参加者は嬉しいのではないか。
  - ・何人で指導するのか。指導しやすい参加人数はあるか。
- 講師は企画者 1 人の予定。2 グループに分かれるとして、参加者は 15 名程度が理想。

### (3) 女性の生理についてのセミナー

#### 【概要】

女性はホルモンの影響で、月に 4 回性格が変わると言われている。  
それぞれの時期について、やった方が良くことや注意すべき点があるので、セミナー形式で、クイズなども交えながら知ってほしい。  
時間は 40 分、質疑応答も含めて 1 時間程度で開催したいと考えている。

#### 【意見】

- ・男性向け、女性向けなど、企画に対象はあるのか。
- 男性にも知ってほしい内容だが、男性はなかなか参加しづらいのではと懸念している。ターゲットは図書館とも相談したい。
- ・タイトルを柔らかくするなど工夫すれば、男性も参加しやすい雰囲気になるのではないか。
  - ・交流フロアはオープンだが、話しにくいのではないか。
  - ・参加者が発言する機会はあるのか。参加者が参加しやすいような形にできるか。
- 生理の話題はだいぶオープンになってきた印象だが、羞恥心のような感情を持つ人もいる。なるべく図式などは使わず、入りやすい内容にしたい。
- ・相談したい人向けに、セミナー後に個別に話を聞く機会を設けてはどうか。
  - ・おすすめの本などもぜひ紹介してほしい。

### (4) 市立北中学校「地域応援プロジェクト」報告会

#### 【概要】

中学校ではこれまでトライやるウィーク（職業体験）を実施していたが、今年度はコロナ禍で事業所に行けなかった。その代替りの取り組みとして行った「地域応援プロジェクト（※）」について、総括したものを中学生のプロジェクトチームに報告してもらいたい。  
また、参加者と課題などについて共有し、今後の活動に繋げていきたい。

(※) 地域の事業所やお店を訪問して取材し、その応援ポスターを作成。

**【意見】**

・ことば蔵で展示していたポスターを見たが、クオリティの高さにびっくりした。合計で 40 枚以上のポスターがあったと思うが、すべて報告するのか。

→取材に行ってからポスター作成までの流れや、取材してみてどうだったかなど、取り組み自体の報告を考えている。その上で、地域に密着して何かをすることについて意見交換をしたい。

・事業所の人々が求めているのは、学生の意見や視点だと思うので、それを大切にしてほしい。

・発表者や参加者はどのような構成を想定しているのか。

→発表する中学生は 3 名程度、訪問した事業所から代表で数名、ファシリテーター（依頼するか教員が担当）、あとはできるだけ多くの地域の市民の方に来てもらって話をしたい。

(5) ハーモニカ演奏会

**【概要】**

ハーモニカの演奏や合奏を通して、その音色の素晴らしさや情感を味わうことができる演奏会を開催したい。童謡などの演奏から、詩の内容の素晴らしさも語り継いでいきたい。

**【意見】**

・どの年齢層向けの演奏会にしたいと考えているか。

→決めていないが、ハーモニカ演奏会はシルバーの方が集まるケースが多い。

・参加者がハーモニカを持ってきて、一緒に演奏などできたら面白いと思う。

・得意分野の演奏曲はあるか

→大舞台に立つときはオリンピックマーチなども演奏する。歌謡曲や童謡なども演奏できる。

・演奏会の他に、ハーモニカの種類の説明などがあればよいと思う。

(6) キッズ・サバイバー講座（地震編）

**【概要】**

シェイクアウトや減災に関する知識を身につける講座と、応急手当の講習会を行いたい。

地震が起こる前に戻れたらどんな対策ができるか、また胸骨圧迫や AED の使い方の講習も開催。

家族で参加してもらい、家庭で話し合ったり、学ぶ機会にしてほしい。

**【意見】**

・障がい者や、外国人の場合はどのようにすればよいのかも教えてほしい。

・参加した保護者の方が、防災士である企画者に質問できる時間も設けてほしい。

## (7) 夏のことば蔵 吃音講座

### 【概要】

これまで12月の「国際障害者週間」に合わせて開催してきた吃音講座を、夏に開催したい。内容は冬の吃音講座と同じく、吃音の症状や体験談発表、グループディスカッションなど。コロナの状況に関わらず、遠方から参加できる利点があるため、オンライン併用で開催したい。

### 【意見】

- ・これまでに参加した人にとっては、同じ内容になるのか。

→体験談発表してもらう人は変更する予定。ただ、以前参加した人にまた来てほしいという内容ではなく、新しい人に来てほしいと考えている。

### <イベント実施報告>

#### (1) 吃音講座

- ・ことばと聞こえの専門家である「言語聴覚士」の先生による講座や、吃音当事者の体験談発表、グループディスカッションなどを開催した。参加者はオンラインを含めて11名だった。
- ・関西以外からの参加者もあり、参加者は色々な人の話を聞く機会につながった。

#### (2) 漫画を語ろう！

- ・テーマ「少女漫画」を持ち寄って、その魅力を語り合った。
- ・参加者は会場が7名、オンラインが2名の合計9名。非常に盛り上がった。
- ・次回は1月26日(水)18時30分～ テーマ「ツッコミどころがある漫画」で開催。

#### (3) 大人と一緒にミライの名刺をつくろう

- ・10月に開催した大人向けのキャリアデザイン講座の、親子版として開催。参加者は17名。
- ・小学校高学年ぐらいをターゲットにしていたが、集まったのは低学年以下が多かった。
- ・子どもたちは9つのヒントから自分の将来や働き方を考え、名刺のデザインを作成した。完成したものは名刺サイズに印刷して、後日ことば蔵に取りに来てもらう予定。

4 次回の運営会議 2022年2月2日(水)18:30～ ことば蔵1階 交流フロア